

国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設及び

キトラ古墳壁画保存管理施設の保存環境について

国立文化財機構古墳壁画PT生物環境班

○高松塚古墳壁画関係（令和6年度実施計画）

1. 仮設修理施設内の温湿度・空気質・生物等の環境調査

・温湿度調査

壁画の保存環境を良好に保つため、施設内の温湿度調査を継続して実施している。また、インターネットにより操作可能なデータロガーを導入し、遠隔監視も実施している。遠隔監視により温湿度に異常が確認された際には、迅速に問題解決に取り組む。設置型のデータロガー回収を年2回（8月、1月）行う予定である。

・空気環境調査（8月、11月実施予定）

・浮遊粒子数調査（8月、1月実施予定）

・歩行性昆虫捕獲調査と除塵清掃作業（5月実施、8月、1月、2月実施予定）

・環境カビ調査（8月、1月に実施予定）

・除塵清掃作業（2月に実施予定）

2. 古墳壁画の保存環境管理指針の策定に資する研究

・過去の微生物環境調査における結果の集約

高松塚古墳壁画が適切な場所で保存と公開が行われることを見据えて、施設の保存環境管理指針の策定に資するため、微生物環境調査（平成24年8月～令和6年1月）で得られた空中カビ数（落下カビ、浮遊カビ）、付着カビ数、およびA3法（令和2年8月～令和6年1月）の結果をもとに維持管理目標値を検討する。

○キトラ古墳壁画関係

令和6年度事業計画

・歩行性昆虫の調査

令和6年5月の調査において、風除室・トラックヤードでシミが捕獲され、侵入経路に粘着テープを設置する対策を取っている。令和6年度は風除室・トラックヤードのシミ、夏期に増加傾向が認められる二重壁内部のチャタテムシを注視し、調査を進める。

- ・壁画保管室の環境カビ調査（夏期および冬期に実施）
- ・展示ケースのガス濃度調査（北川式ガス検知管を用いて毎月実施）
- ・温湿度調査
- ・微粒子測定（毎月）
- ・除塵清掃（1回）
- ・類例古墳調査

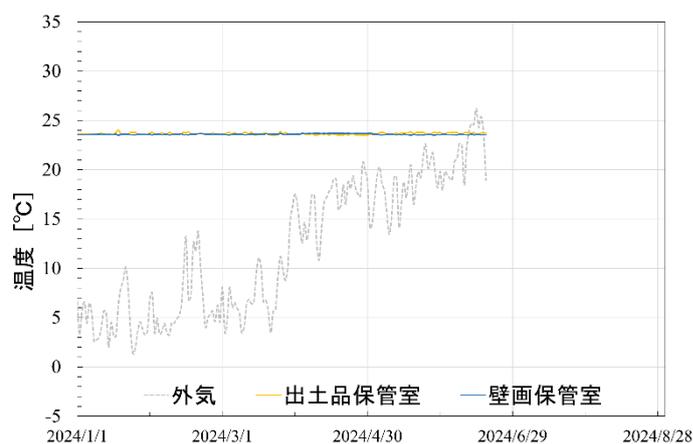


図1 キトラ古墳壁画保存施設内の気温

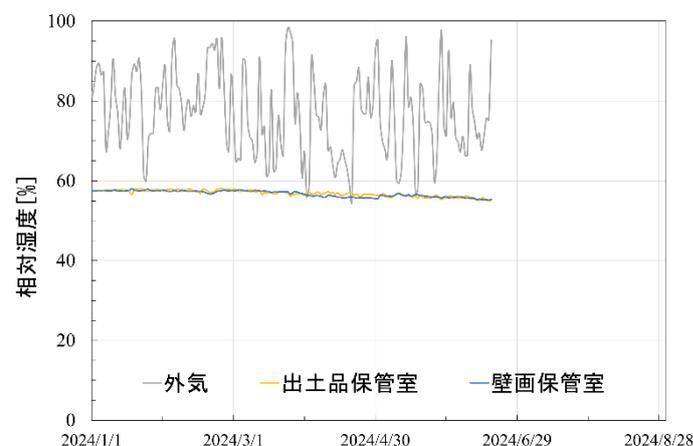


図2 キトラ古墳壁画保存施設内の相対湿度